

WEBアンケート クロス集計結果

平成30年12月10日
環境省

1. クロス集計の概要

2. クロス集計結果

2-1. 年代とのクロス集計

2-2. 放射線に関する知識とのクロス集計

2-3. 再生利用に対する関心と情報源とのクロス集計

WEBアンケートの概要

- ◆ 参考資料1に示したアンケート調査の結果の一部について、回答者の属性等とのクロス集計を実施した。
- ◆ 全般的に福島県とそれ以外の地域で回答の傾向の違いがみられていたことから、それらを分けて集計した。

1. クロス集計の概要

2. クロス集計結果

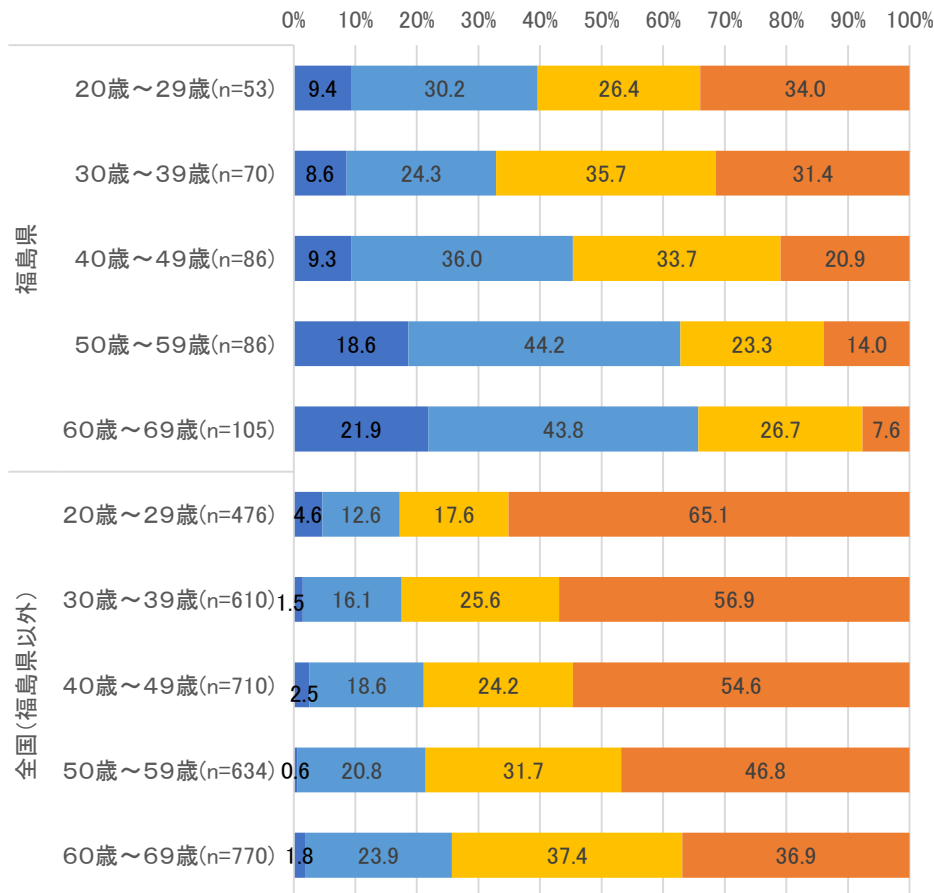
2-1. 年代とのクロス集計

2-2. 放射線に関する知識とのクロス集計

2-3. 再生利用に対する関心と情報源とのクロス集計

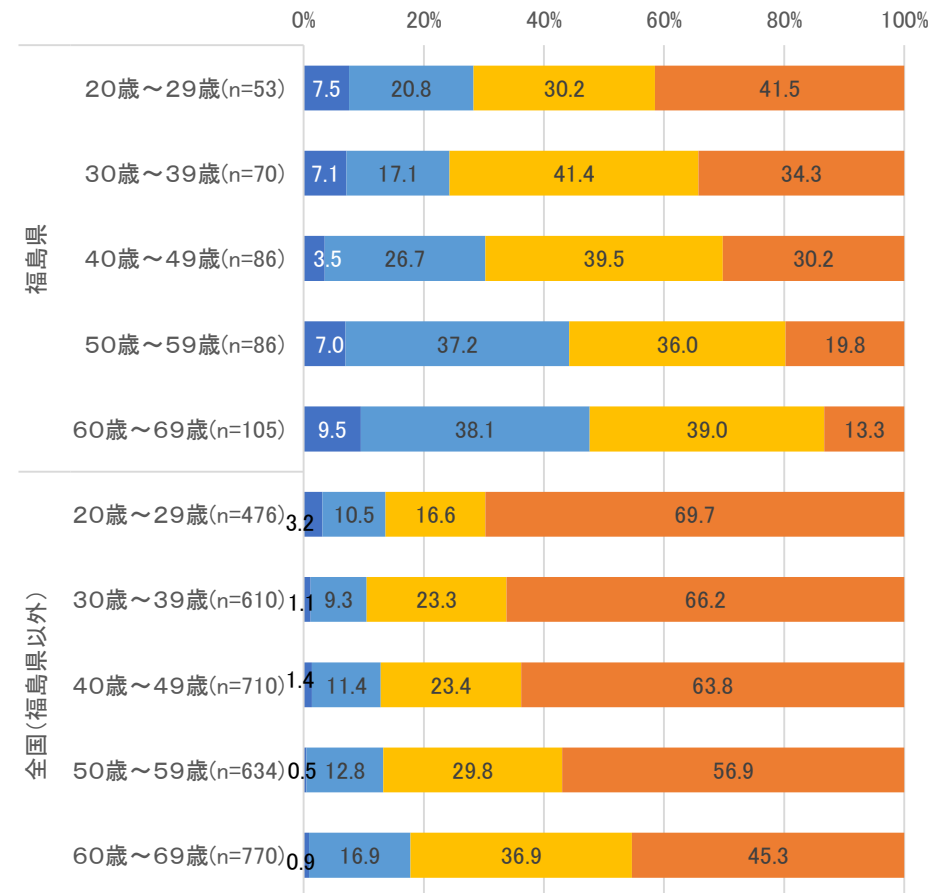
年代×除去土壌等の最終処分および再生利用に対する認知

あなたは、除去土壌等が中間貯蔵開始後30年以内に福島県外において最終処分されると法律で定められていることをどの程度ご存知でしたか。



- 内容をよく知っていた
- 聞いたことがあり、内容も少し知っていた
- 聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった
- 聞いたことがなかった

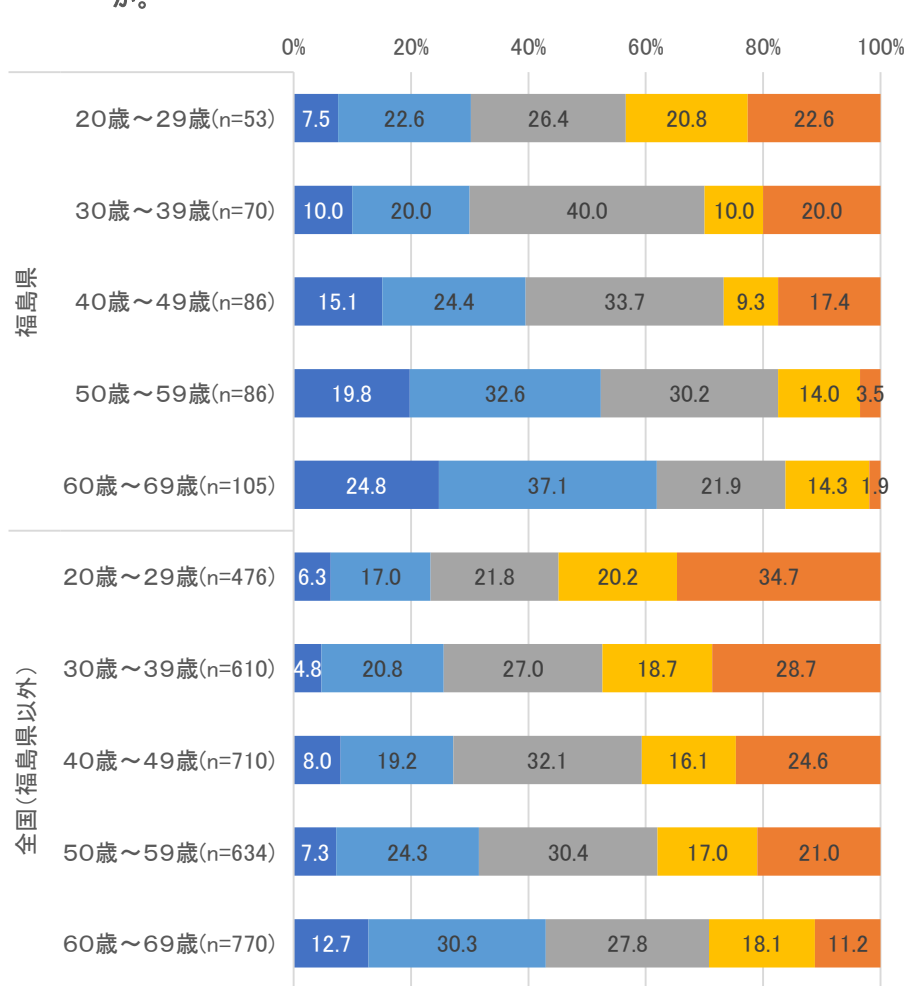
あなたは、除去土壌の再生利用について、その内容をどの程度ご存知でしたか。



- 内容をよく知っていた
- 聞いたことがあり、内容も少し知っていた
- 聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった
- 聞いたことがなかった

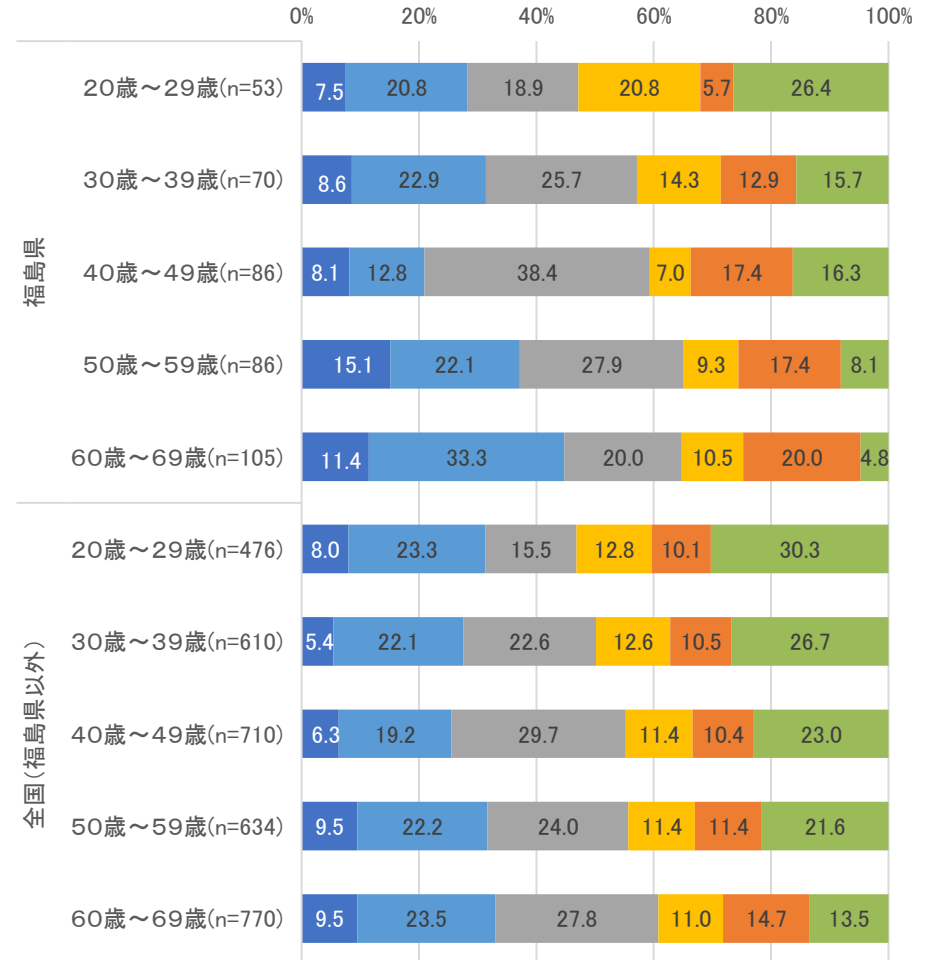
年代×再生利用に対する関心、必要性

あなたは、除去土壌の再生利用について、どの程度関心をお持ちですか。



■ 関心がある ■ やや関心がある ■ どちらともいえない
■ あまり関心がない ■ 関心がない

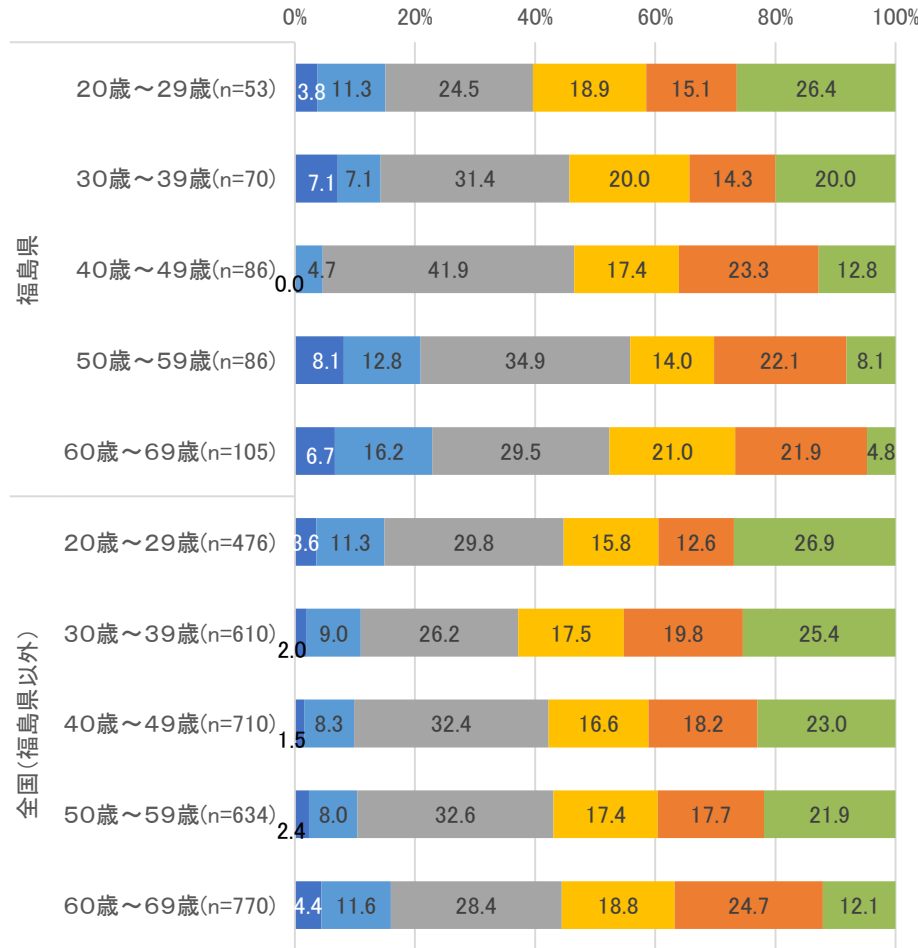
あなたは、除去土壌を再生利用する必要があると思いますか。



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う
■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない ■ わからない

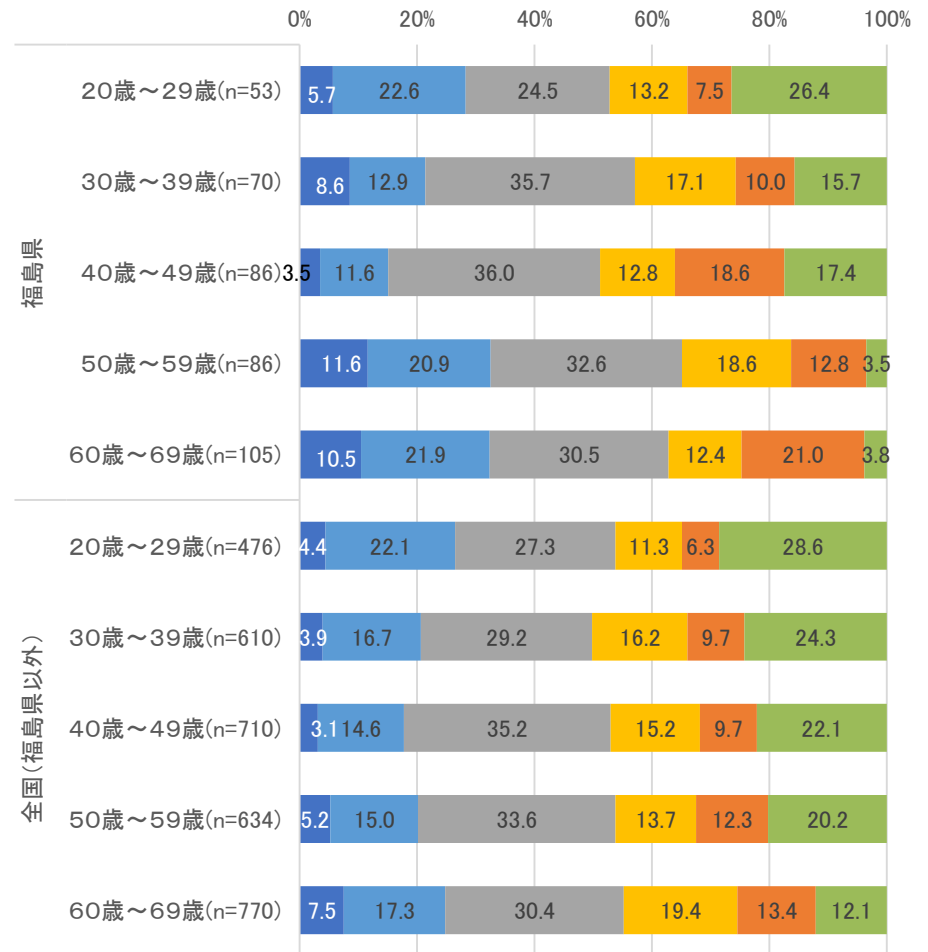
年代×再生利用に対する安全性、賛否

あなたは、除去土壌の再生利用は安全だと思いますか。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない

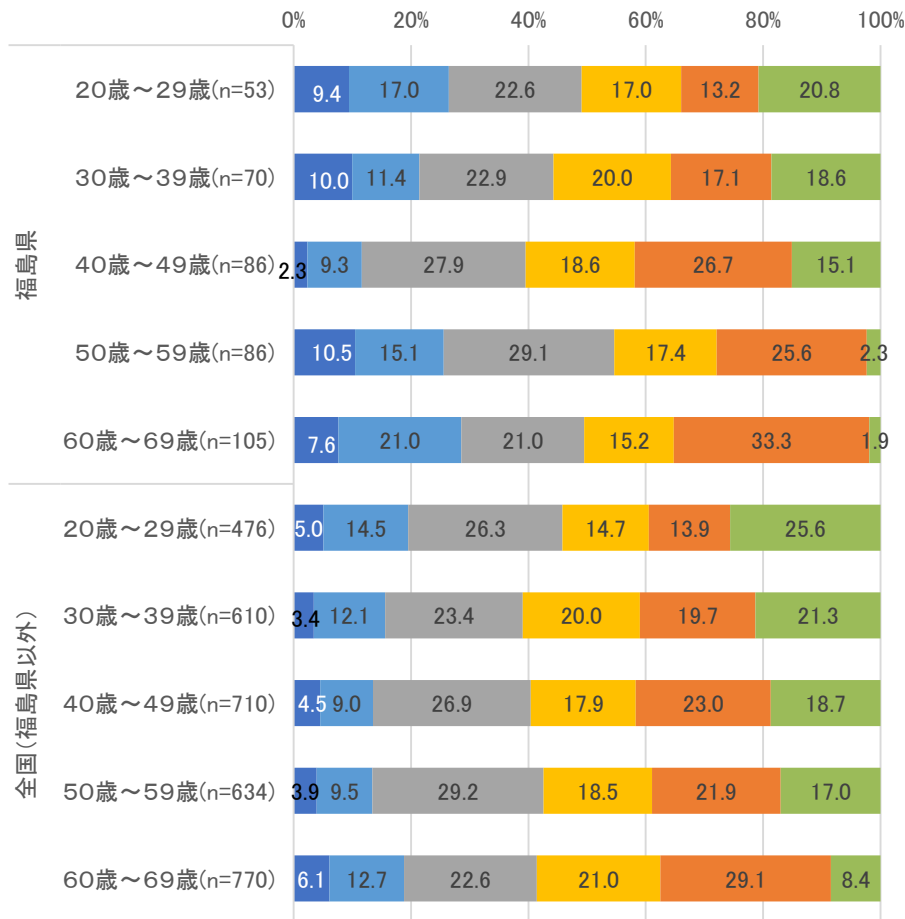
あなたは、除去土壌の再生利用を進めることに賛成ですか、それとも反対ですか。



- 賛成である
- どちらともいえない
- どちらかといえば賛成である
- どちらかといえば反対である
- 反対である
- わからない

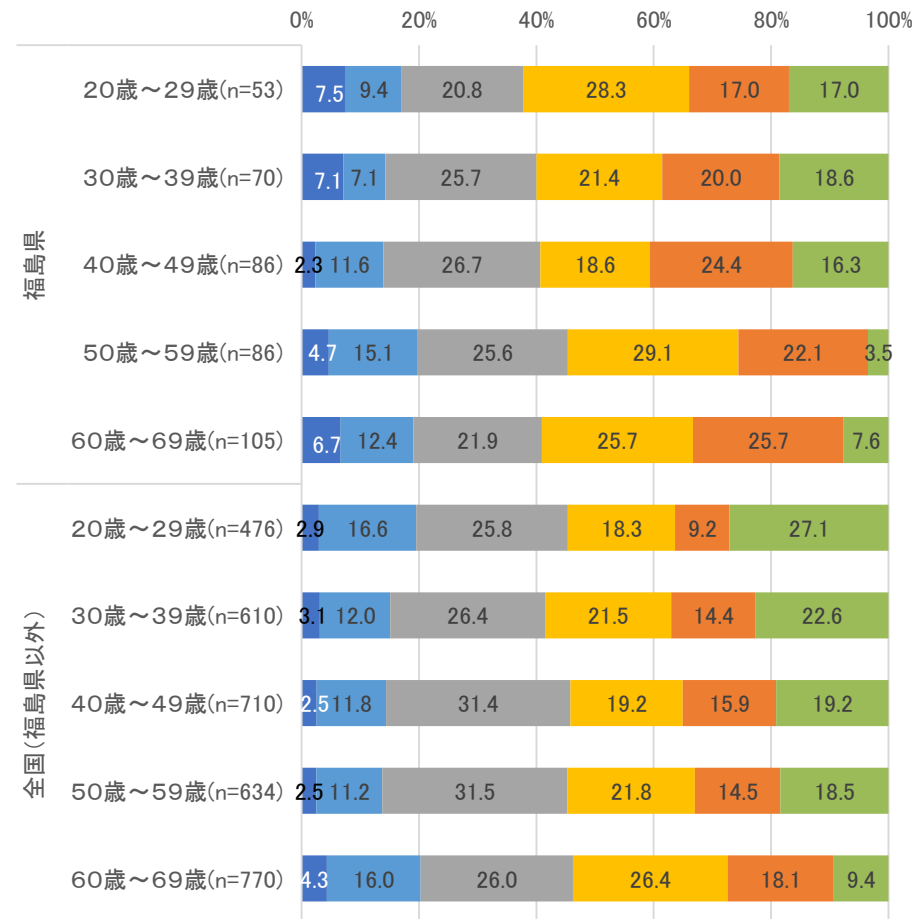
年代×再生利用の身近での実施、社会的な理解

あなたは、自身のお住まいの地域で除去土壌の再生利用が実施されても良いと思いますか、それともいやだと思いますか。



- 良いと思う
- どちらかといえばよいと思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばいやだと思う
- いやだと思う
- わからない

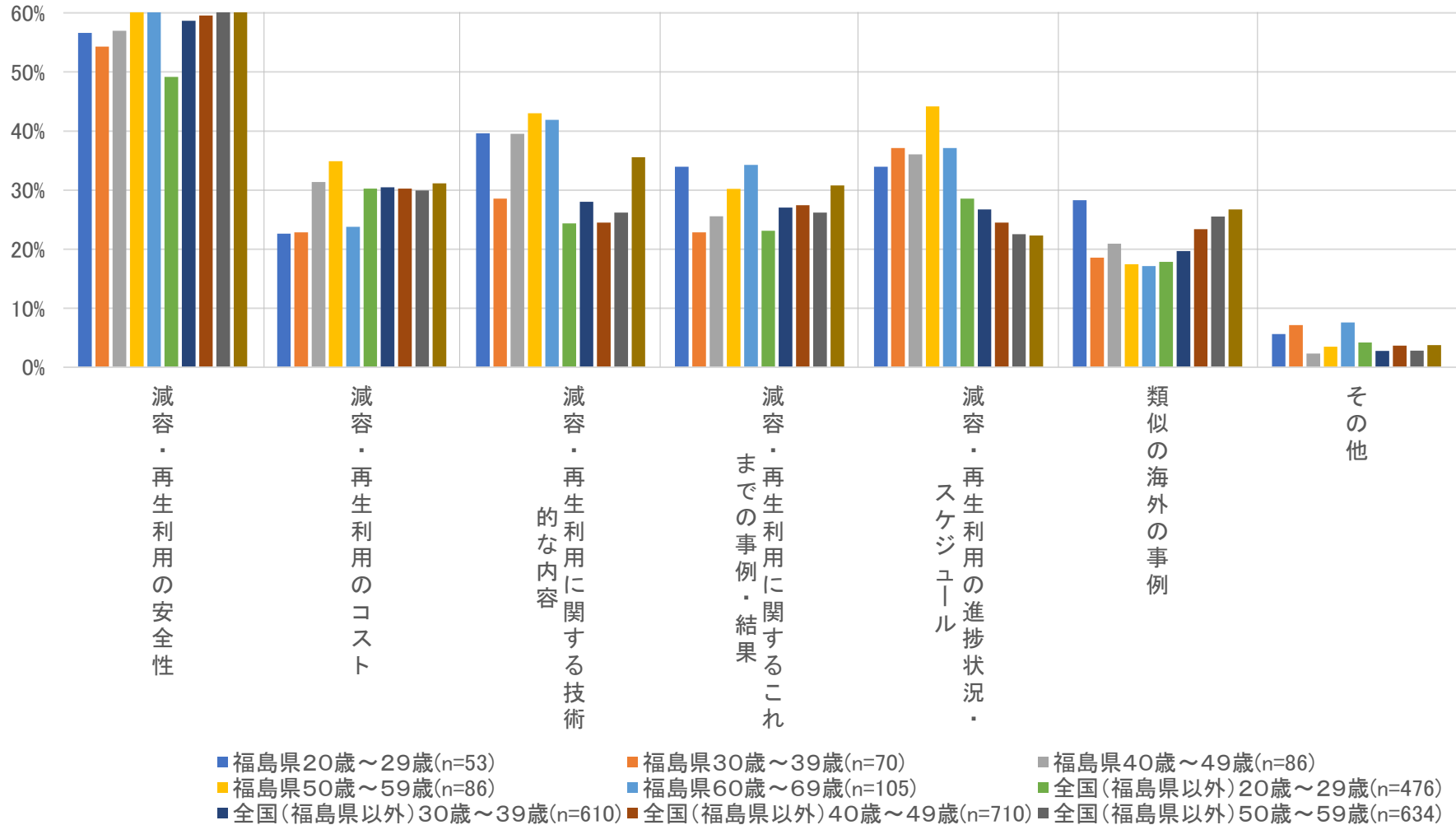
あなたは、除去土壌の再生利用を進めることについて社会的に理解を得ることは可能であると思いますか。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない

年代×再生利用に関する関心事項

除去土壌の再生利用に関する以下の内容で特に関心のある事項をお答えください。



1. クロス集計の概要

2. クロス集計結果

2-1. 年代とのクロス集計

2-2. 放射線に関する知識とのクロス集計

2-3. 再生利用に対する関心と情報源とのクロス集計

放射線に関する知識の選択肢

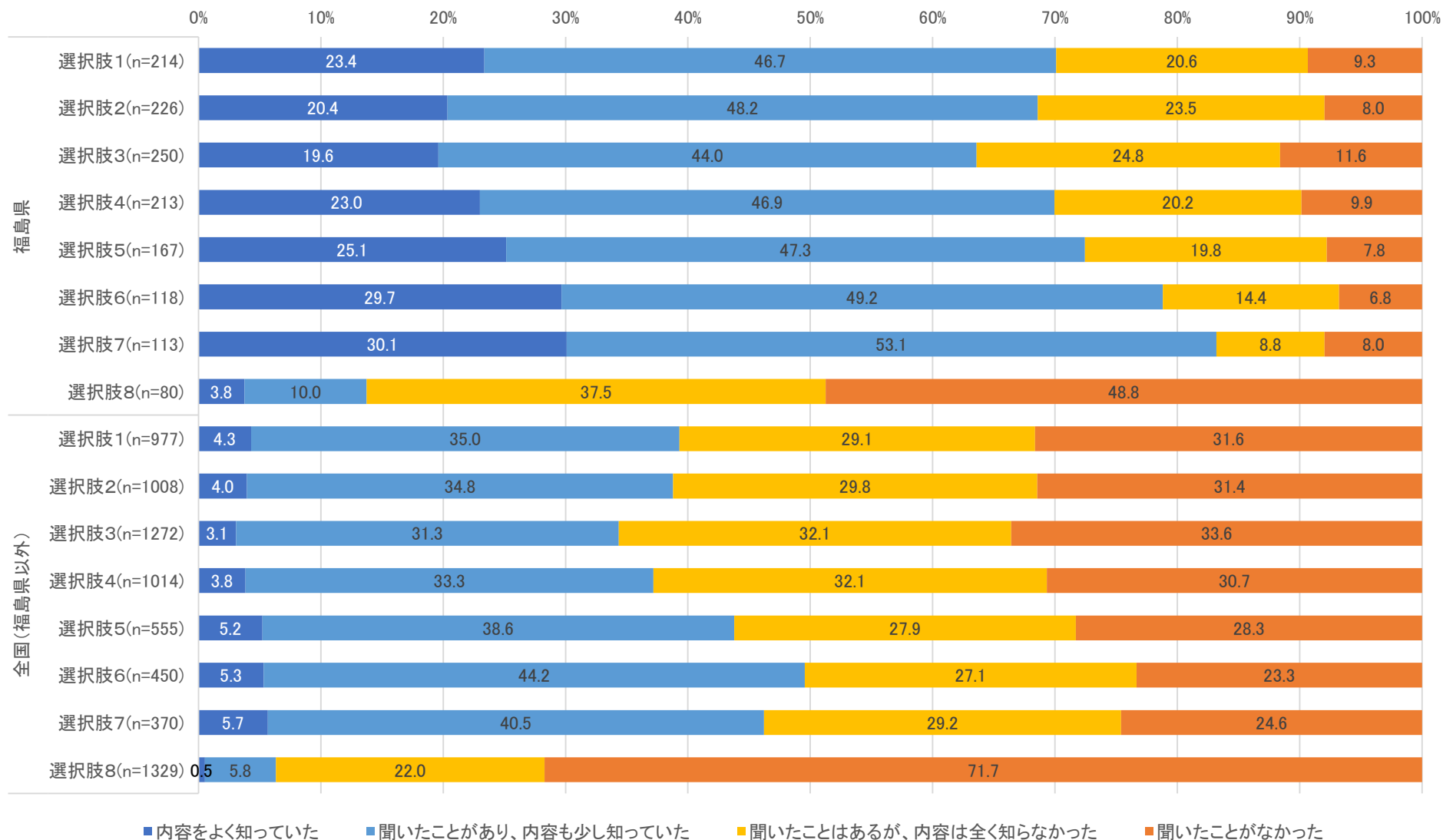
- ◆ 以下の放射線に関する知識を尋ねた質問において、各選択肢を選んだ回答者のみの結果を集計した。
- ◆ 各選択肢は複数選択が可能であったことに留意。
(選択肢8のみ他の選択肢と同時に選ぶことはできない)

放射線、放射性物質、放射能について、あなたが知っていることをお答えください。

#	選択肢内容
選択肢1	放射性物質の種類(核種)により、放射線には、透過力等が異なるα線、β線、γ線といった種類がある。
選択肢2	放射性物質に関する単位には、放射線の強さを表すベクレル(Bq)と、人体への影響度合いを表すシーベルト(Sv)との2つがある。
選択肢3	人体の外にある放射性物質からの放射線を受けることを「外部被ばく」といい、空気、水、食物などを摂取して体内に取り込まれた放射性物質から放射線を受けることを「内部被ばく」という。
選択肢4	日常生活の中でも、私たちは自然放射線による「外部被ばく」と「内部被ばく」をしている。(地球外からの宇宙線、大気中のラドン及び食品中の天然由来のカリウム40などから、世界平均で1年間1人当たり2.4ミリシーベルトの被ばく)
選択肢5	身の回りで受ける放射線の量として、飛行機で東京・ニューヨーク間を1回往復すると0.11~0.16ミリシーベルト、医療では胸部CT検査1回で2.4~12.9ミリシーベルト、胸部X線検査1回で0.06ミリシーベルトの放射線を受けている。
選択肢6	ほとんどの食品にはもともと自然の放射性カリウム40が含まれており、それを摂ることによって、体重60キログラムの人の場合、身体の中におよそ4,000ベクレルのカリウム40が存在している。さらに、その他炭素14等がおよそ3,000ベクレル、合計で7,000ベクレル程度の放射性物質が身体の中に存在している。
選択肢7	追加的に受ける線量が生涯100ミリシーベルト以下では、発がんのリスクを検出することが極めて難しいと考えられている。
選択肢8	知っているものは特にない。

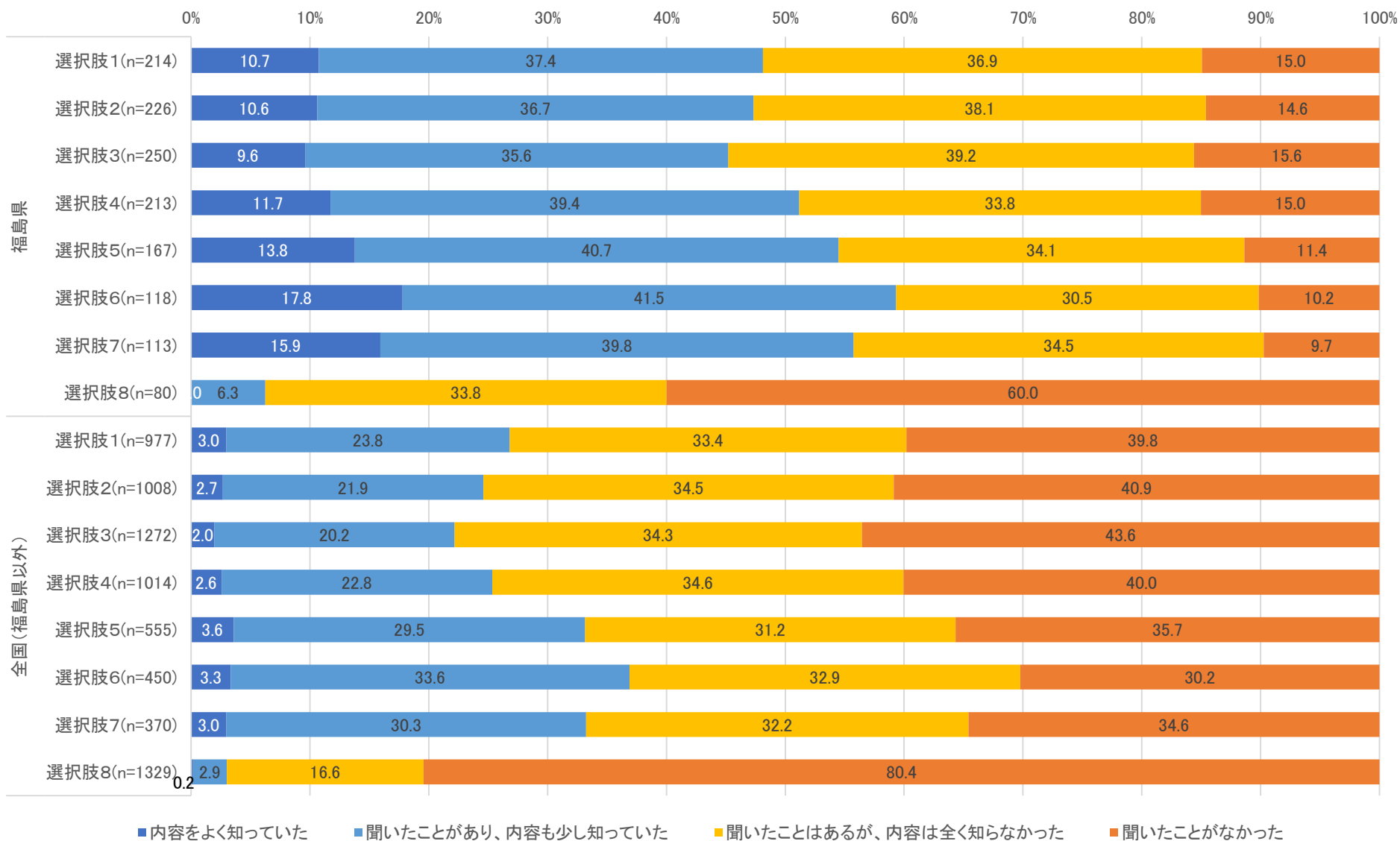
放射線に関する知識×除去土壌等の最終処分に対する認知

あなたは、除去土壌等が中間貯蔵開始後30年以内に福島県外において最終処分されると法律で定められていることをどの程度ご存知でしたか。



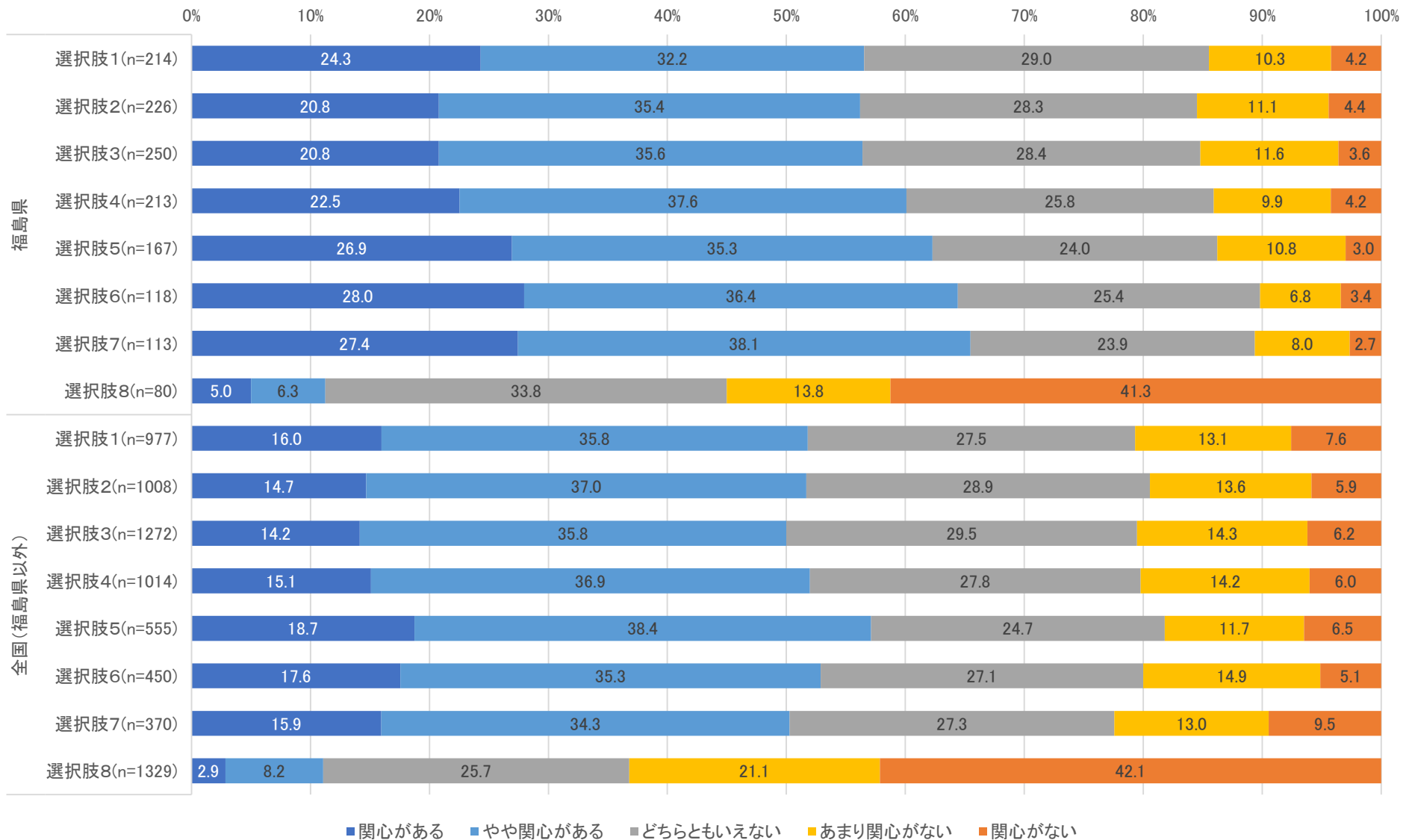
放射線に関する知識×再生利用に対する認知

あなたは、除去土壌の再生利用について、その内容をどの程度ご存知でしたか。



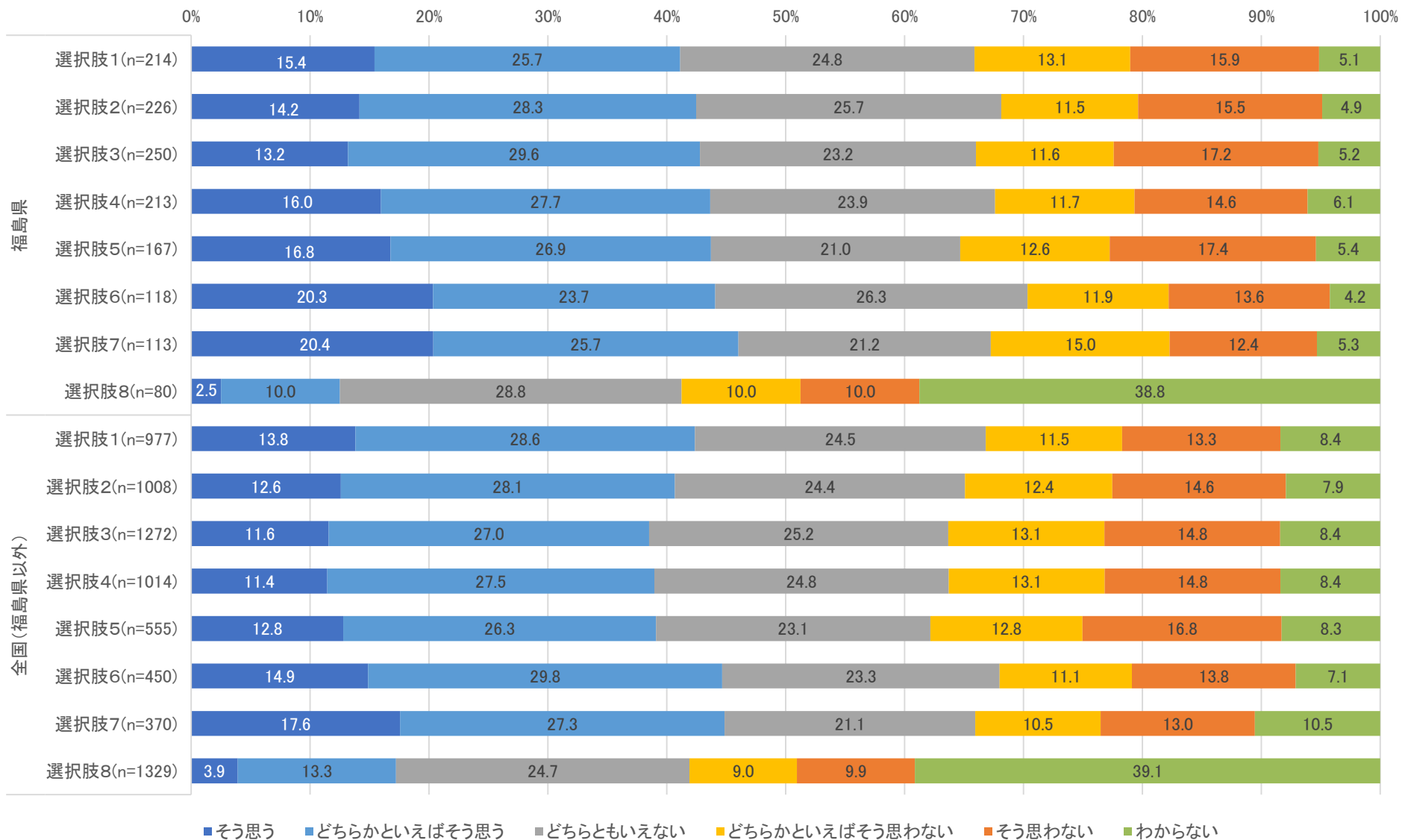
放射線に関する知識×再生利用に対する関心

あなたは、除去土壌の再生利用について、どの程度関心をお持ちですか。



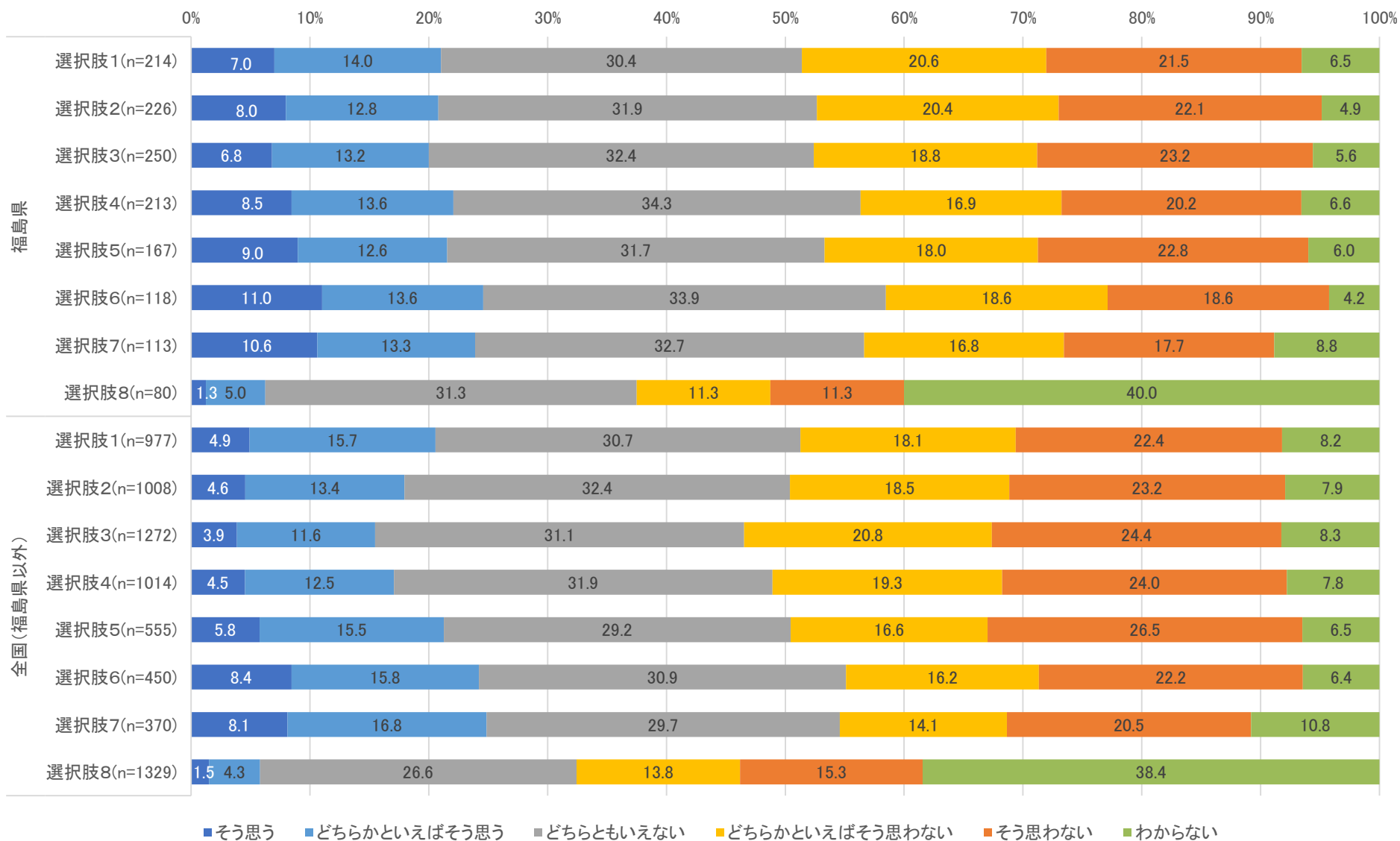
放射線に関する知識×再生利用に対する必要性

あなたは、除去土壌を再生利用する必要があると思いますか。



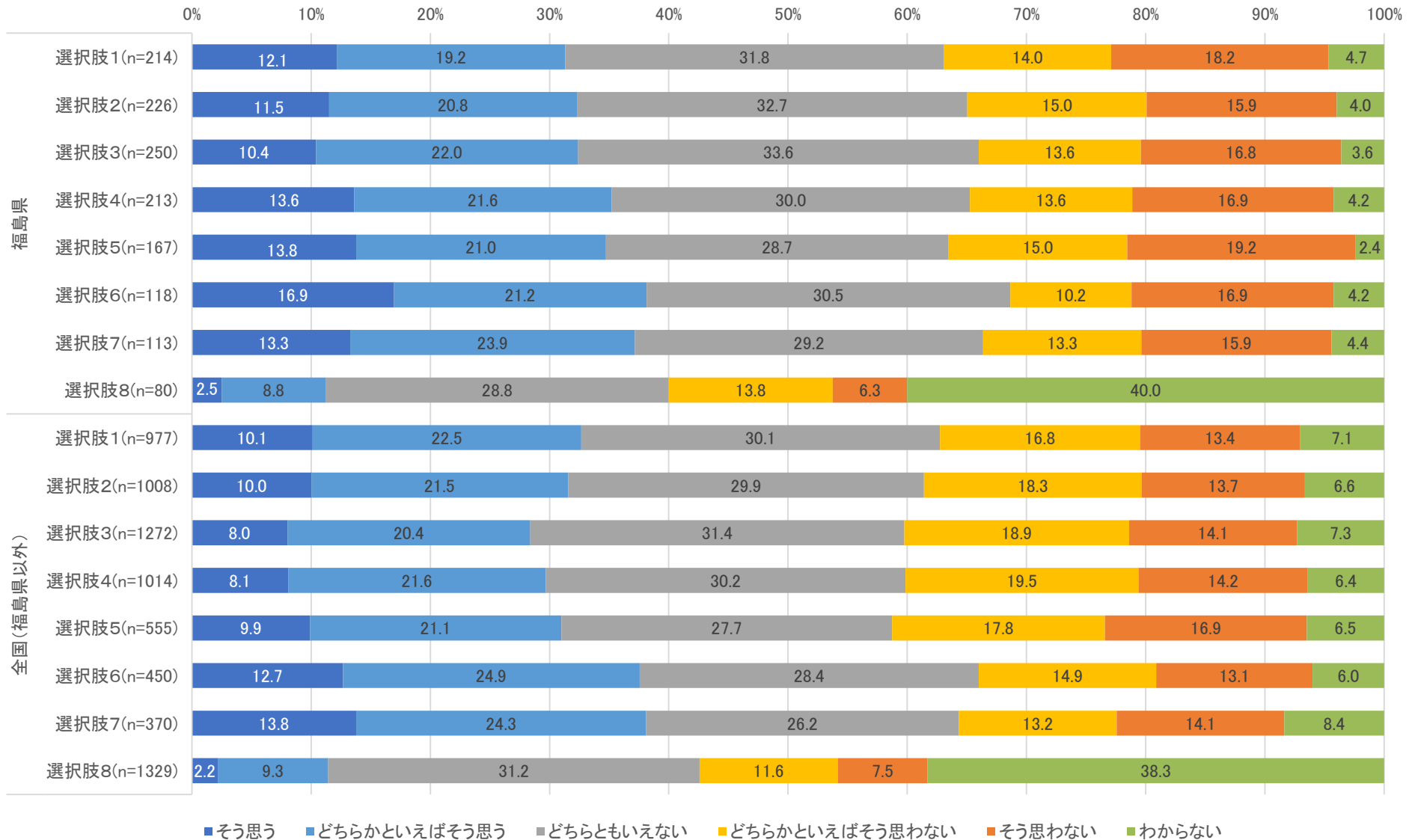
放射線に関する知識×再生利用に対する安全性

あなたは、除去土壌の再生利用は安全だと思いますか。



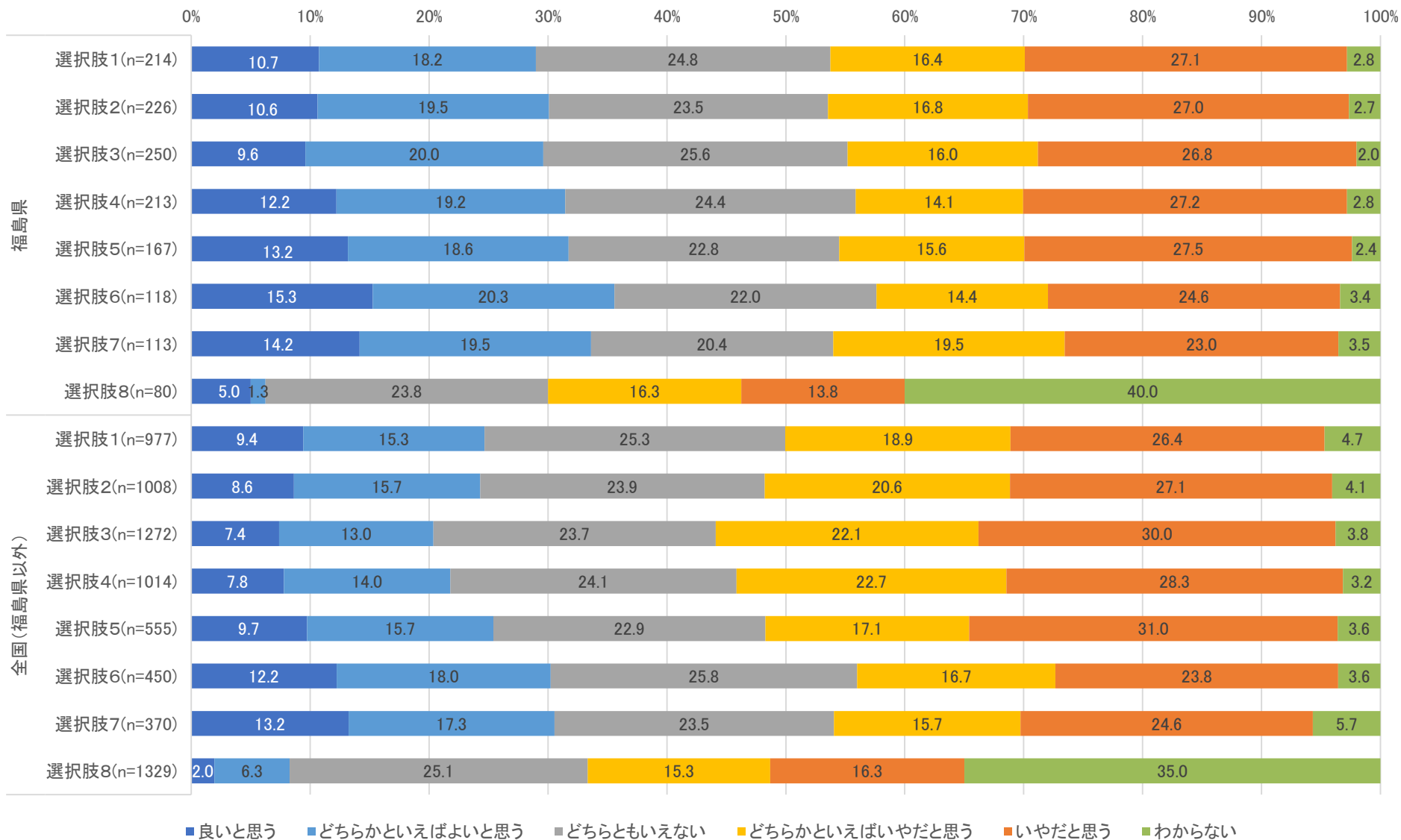
放射線に関する知識×再生利用に対する賛否

あなたは、除去土壌の再生利用を進めることに賛成ですか、それとも反対ですか。



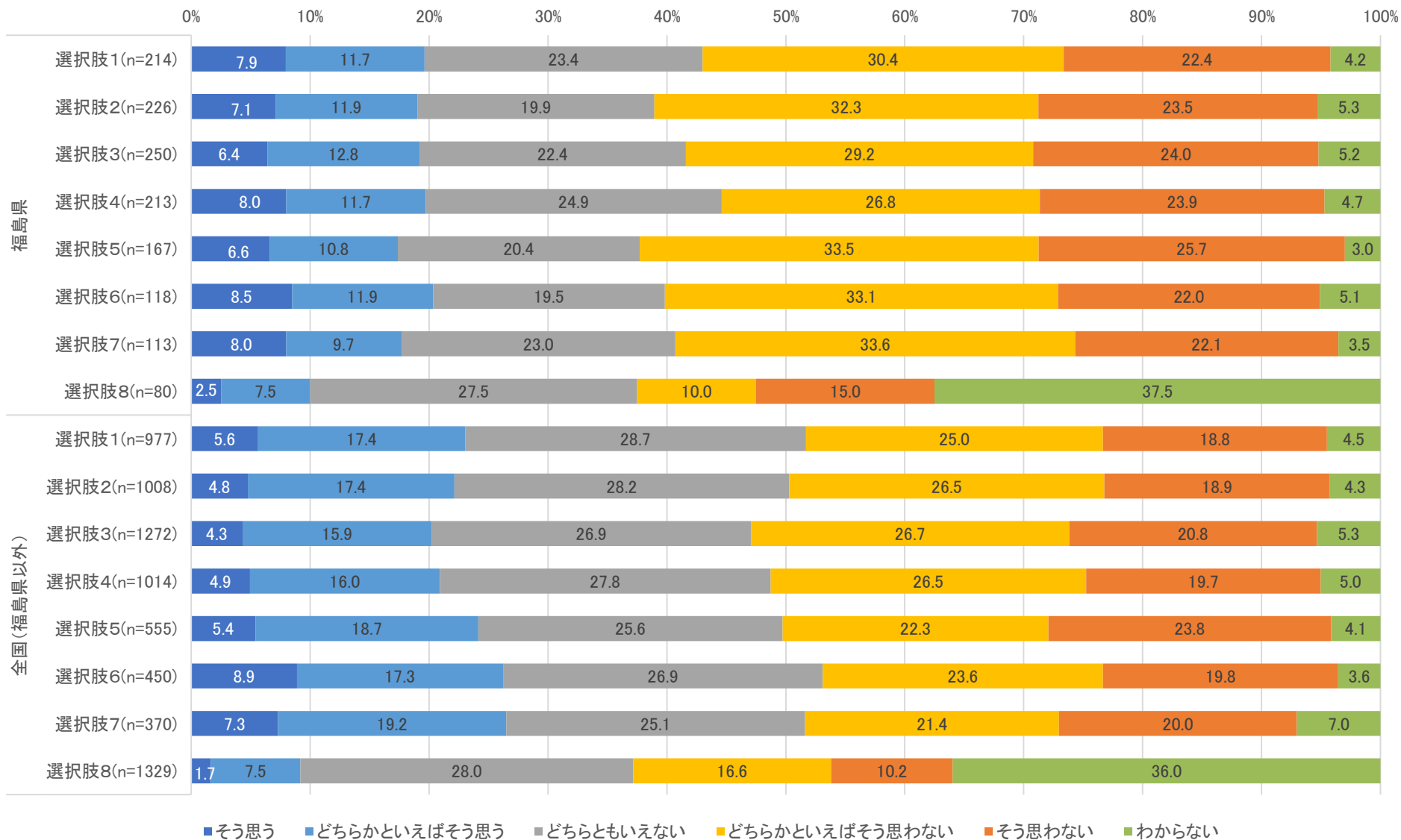
放射線に関する知識×再生利用の身近での実施

あなたは、自身のお住まいの地域で除去土壌の再生利用が実施されても良いと思いますか、それともいやだと思いますか。



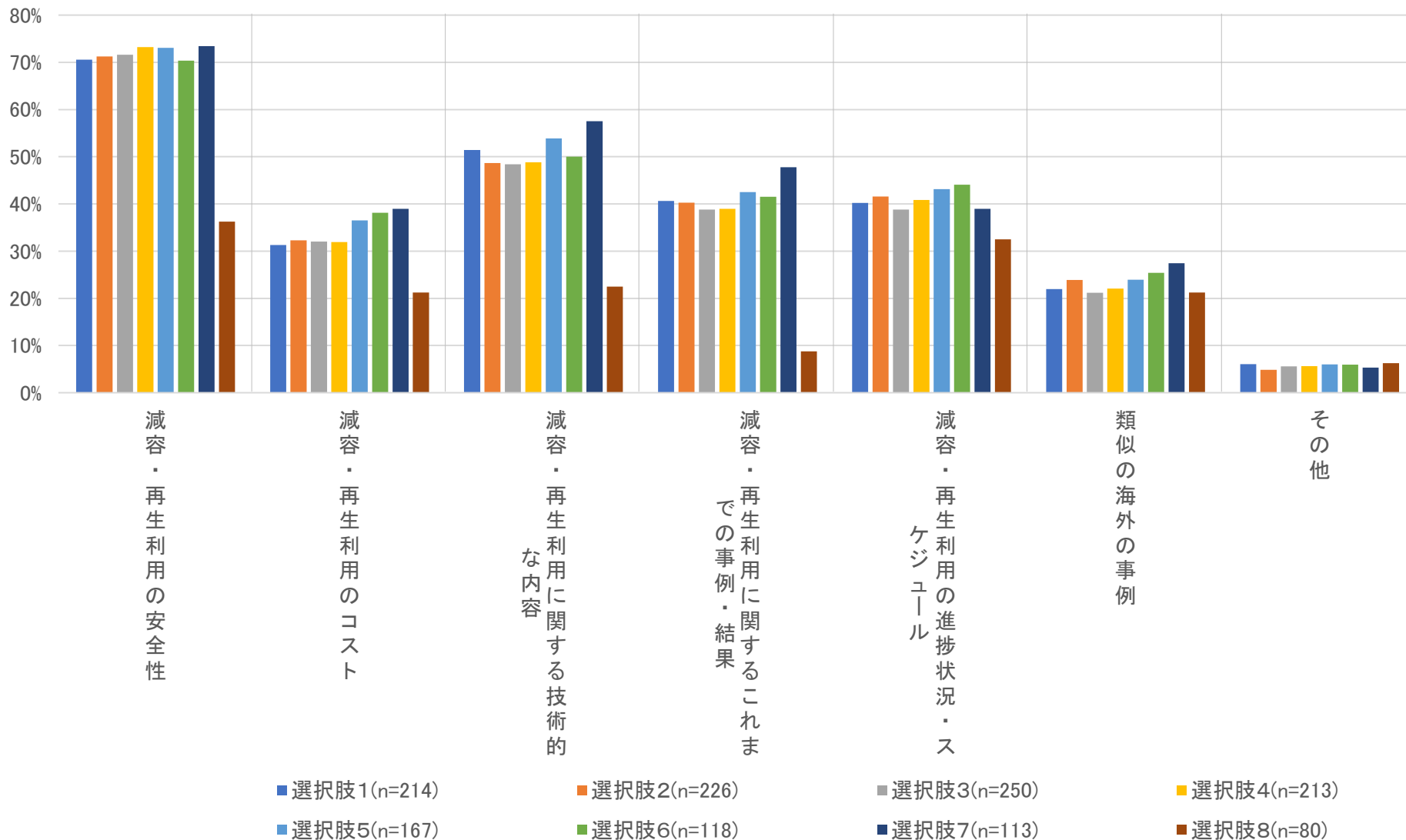
放射線に関する知識×再生利用の社会的な理解

あなたは、除去土壌の再生利用を進めることについて社会的に理解を得ることは可能だと思いますか。



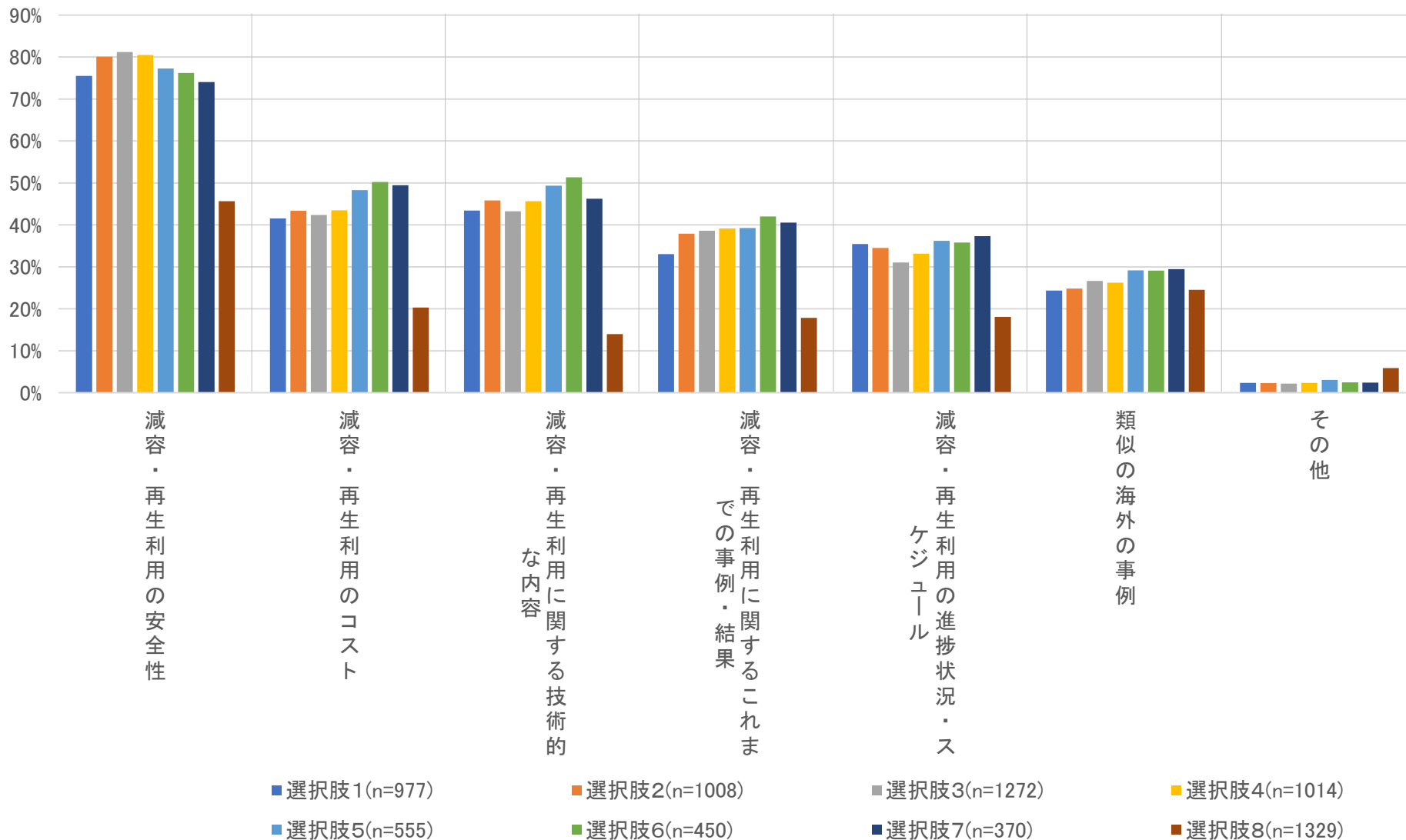
放射線に関する知識×再生利用に関する関心事項(福島県)

除去土壌の再生利用に関する以下の内容で特に関心のある事項をお答えください。(福島県)



放射線に関する知識×再生利用に関する関心事項(全国(福島県以外))

除去土壌の再生利用に関する以下の内容で特に関心のある事項をお答えください。(全国(福島県以外))



1. クロス集計の概要

2. クロス集計結果

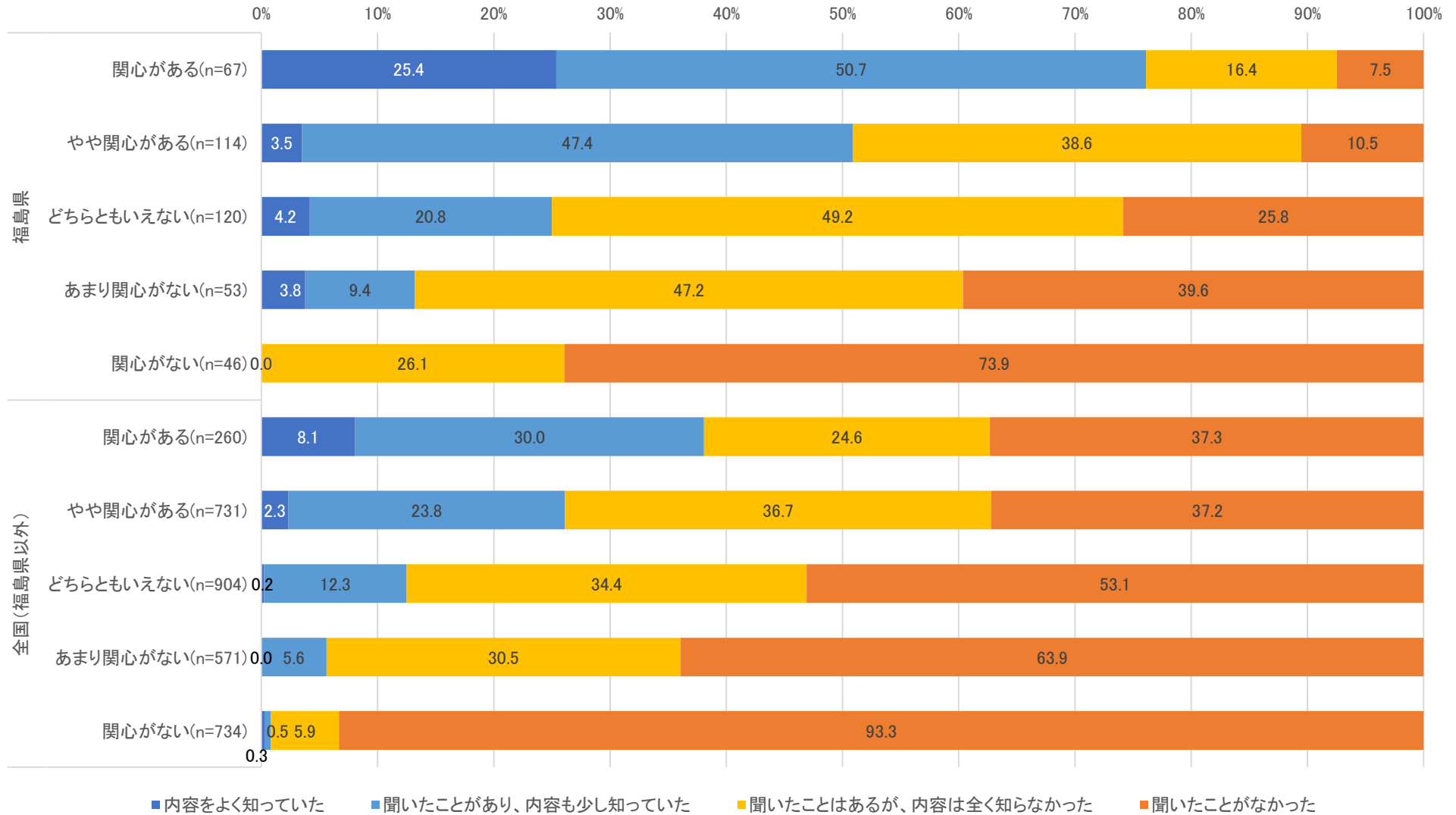
2-1. 年代とのクロス集計

2-2. 放射線に関する知識とのクロス集計

2-3. 再生利用に対する関心と情報源とのクロス集計

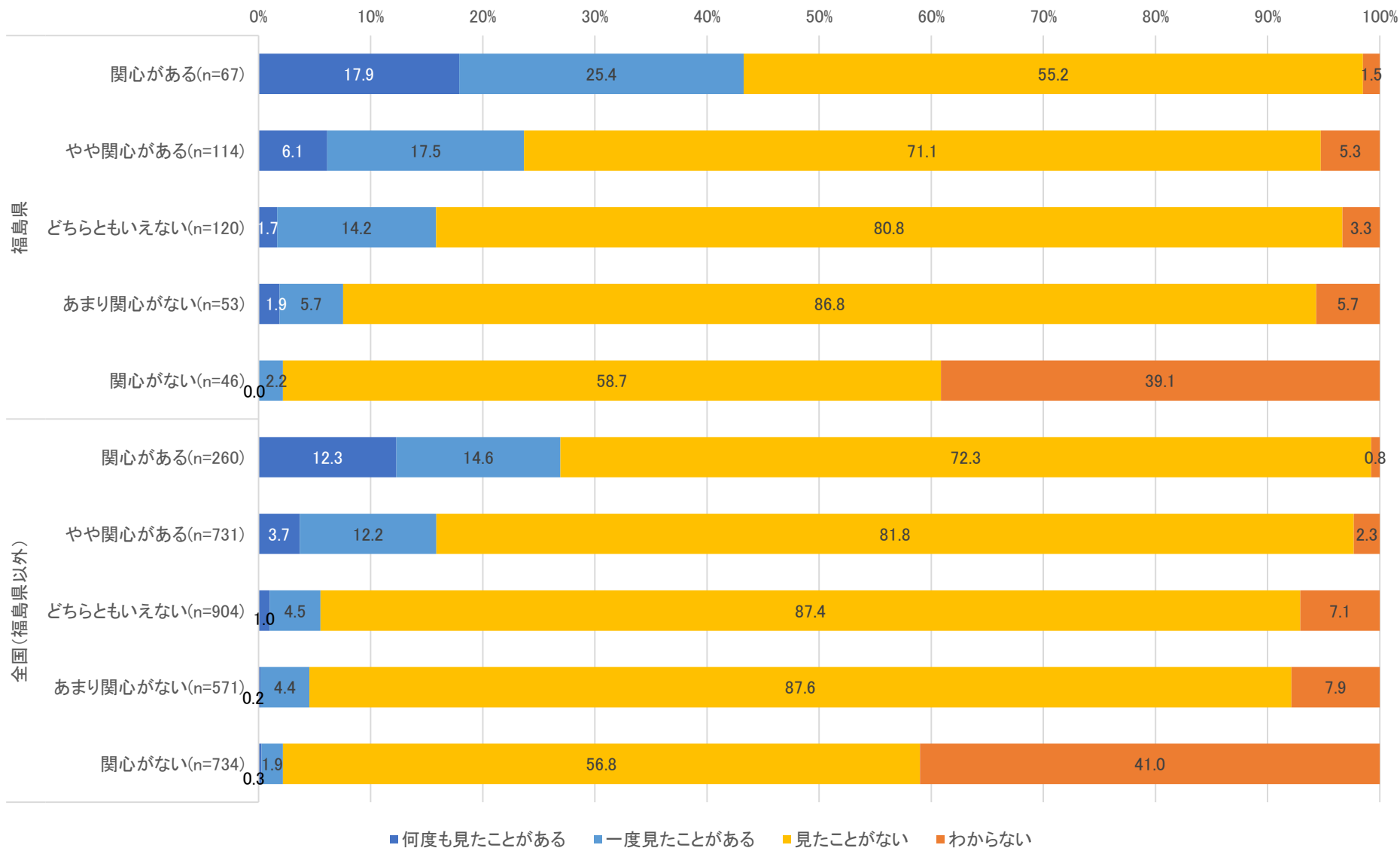
再生利用に対する関心×再生利用に対する認知

あなたは、除去土壌の再生利用について、その内容をどの程度ご存知でしたか。



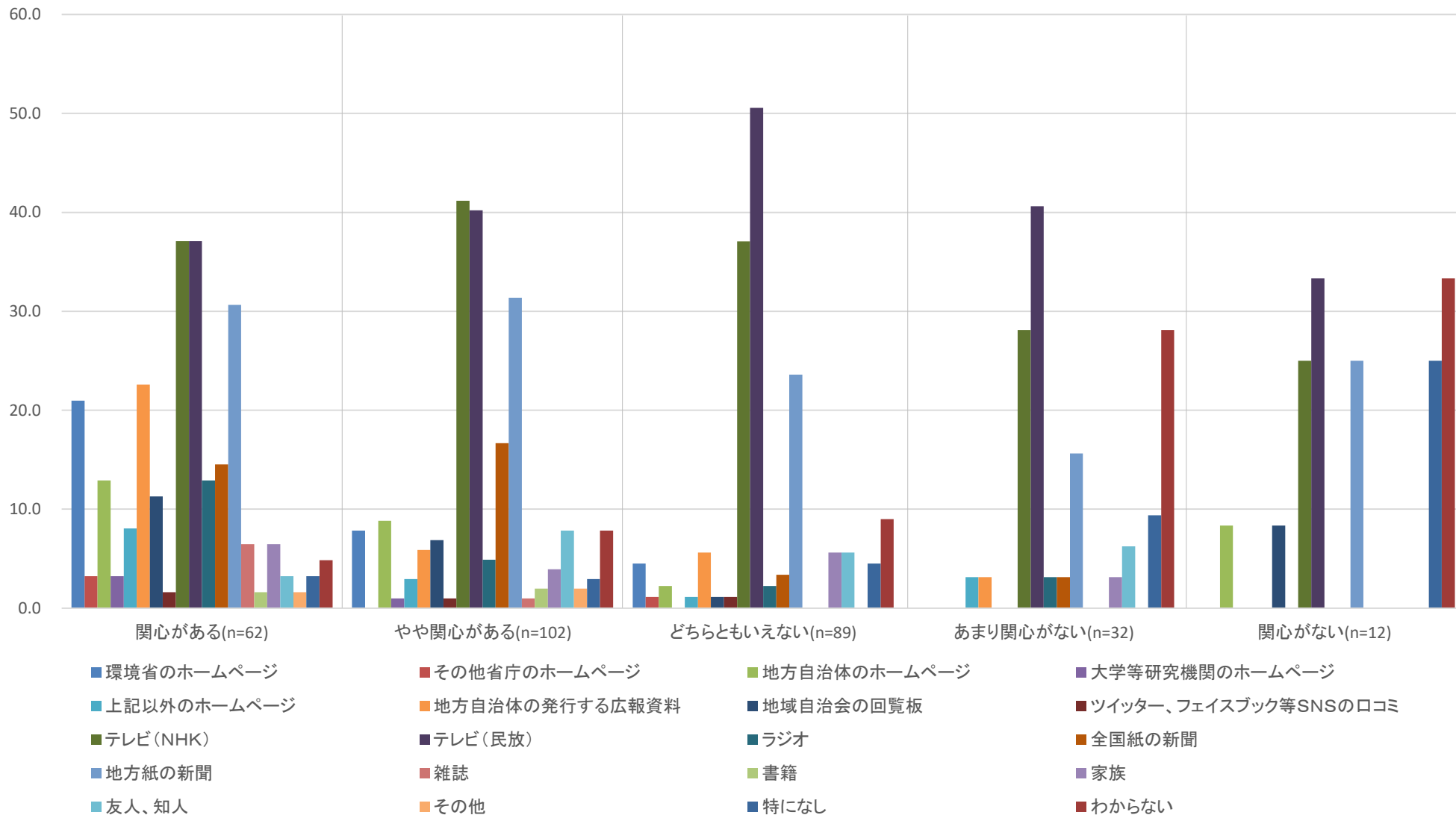
再生利用に対する関心×ホームページの閲覧経験

あなたは、除去土壌の再生利用に関する環境省のホームページを見たことがありますか。また、どの程度見たことがありますか。



再生利用に対する関心×情報源(福島県)

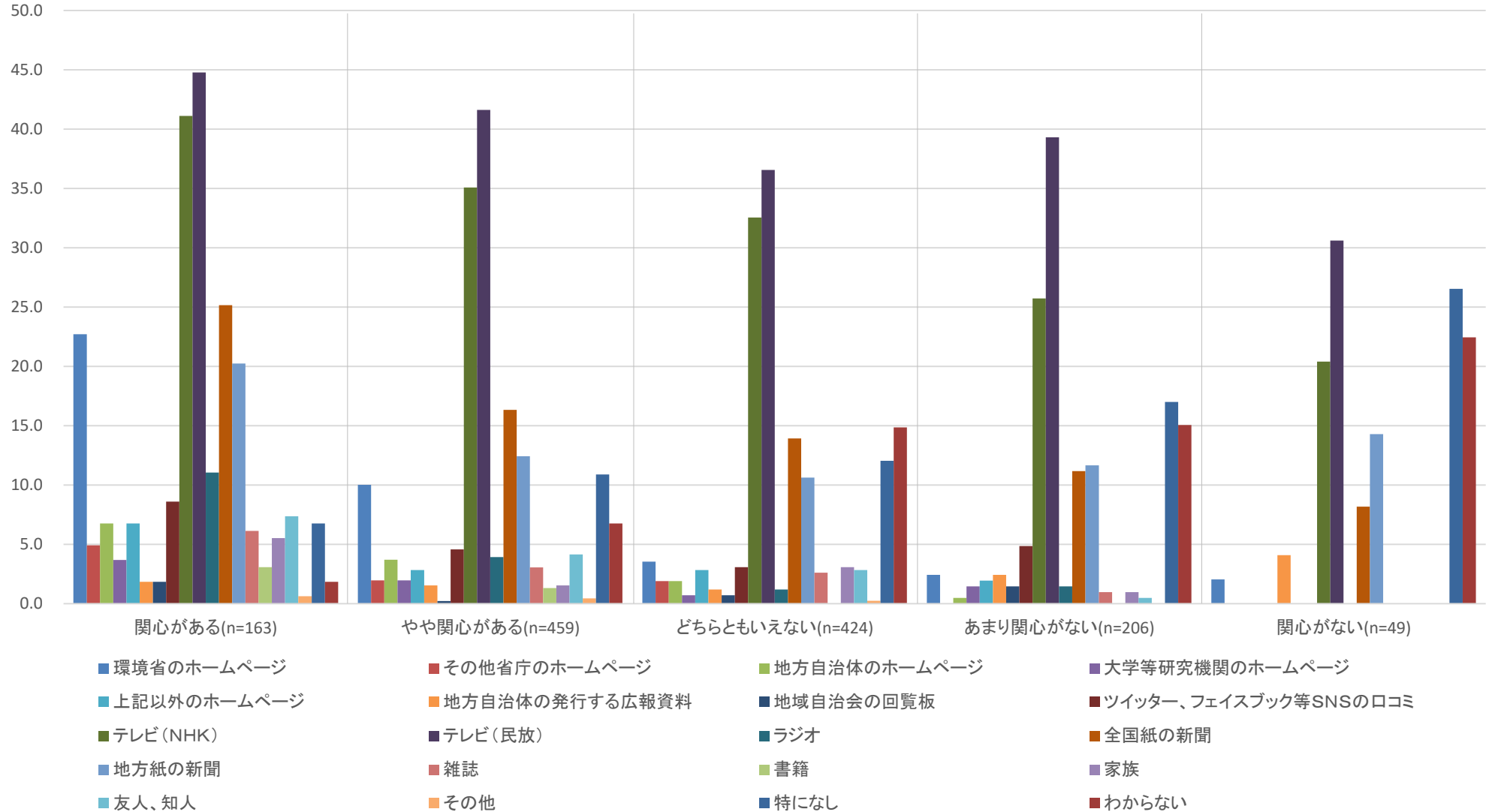
あなたは、除去土壌の再生利用について、何で情報を得ましたか。(福島県)



※再生利用に対する認知の質問において、“内容をよく知っていた”、“聞いたことがあり、内容も少し知っていた”、“聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった”のいずれかを回答した方のみを対象としていることに留意。

再生利用に対する関心×情報源(全国(福島県以外))

あなたは、除去土壌の再生利用について、何で情報を得ましたか。(全国(福島県以外))



※再生利用に対する認知の質問において、“内容をよく知っていた”、“聞いたことがあり、内容も少し知っていた”、“聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった”のいずれかを回答した方のみを対象としていることに留意。